



おさかな瓦版

No. 128

2025.11



シイラ

あたた うみ おう ごん さかな
～ 暖かい海の黄金の魚 ～



ふーちゃんのトピックス

ち きゅう おん だん か
地球温暖化で
ふ 増えた魚と減った魚
さかな さかな

シイラ

ながの長〜く伸びた
せとくちようてき背びれも特徴的

～暖かい海の黄金の魚～



🐟1 シイラ

シイラってどんな魚？

ついで突き出たおでこ(🔍**チェック**)と、あざやかなからだの色が特徴の魚です(🐟1)。体色が金色に見えることから、海外では「Dorado(金色という意味)」と呼ばれています。世界中の暖かい海にすんでいて、20度以上の海水温を好みます。初夏から秋にかけて、南の熱帯・亜熱帯の海から対馬海流や黒潮によって日本にやってきます(★1)。

生まれてから、およそ1年で体長約60センチになるといわれています。大きいものでは体長が1メートルを超え、最大で2メートルになります。1～2年で大人になり、寿命は3～4年です。夏に産卵し、日本の近くでも産卵すると考えられています。海面近くを泳ぎ、トビウオ、カタクチイワシなどの小魚やイカを食べます。一方で、マグロや



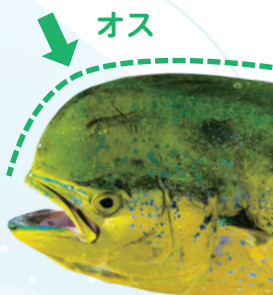
★1 シイラの日本への回遊ルート

カジキなどの大型の魚に食べられてしまうこともあります。

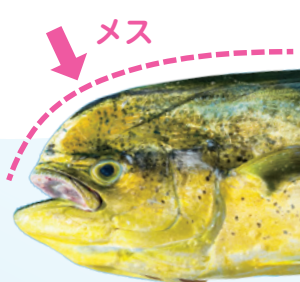


チェック

大人のシイラの性別は頭の形で見分けられます。おでこが角ばっているのが**オス**(🐟1)、丸いのが**メス**(🐟2)です。



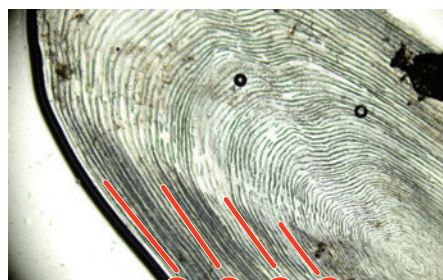
🐟1 角ばったおでこのオス



🐟2 丸いおでこのメス

性別と年齢の調べ方

シイラの年齢は、ウロコを使って調べます。シイラのウロコには木の年輪のような模様ができて(🐟3)、そのパターンを見て年齢を判断します。



🐟3 シイラのウロコの拡大図。模様から4歳と予想できる

浮いているものが好き

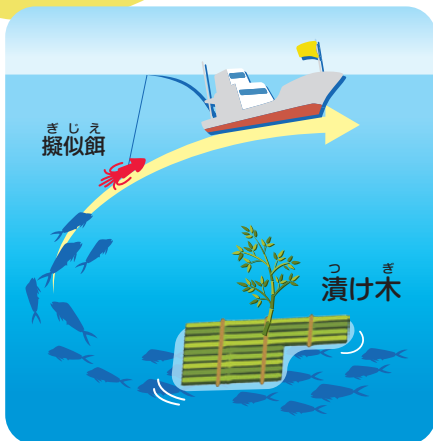
シイラの子ども(🐟2)は、海に浮いている藻(流れ藻)に集まります。藻にはサンマ、ブリ、メジナなどの子どもがすんでいて、それを食べて大きくなります。シイラは大人になっても浮いているものに集まり、その周りに群れを作ります。この習性を利用して、浮遊物を使って、集まったシイラをつかまえる方法は、「シイラ漬け漁」(★2)と呼ばれています。



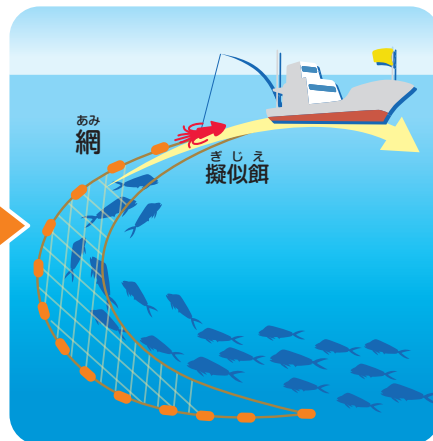
🐟2 シイラの子ども
がぞうていしきょう きょうと かいようこうこう なかの ひかる
 (画像提供: 京都海洋高校 中野 光さん)

シイラ漬け漁とは?

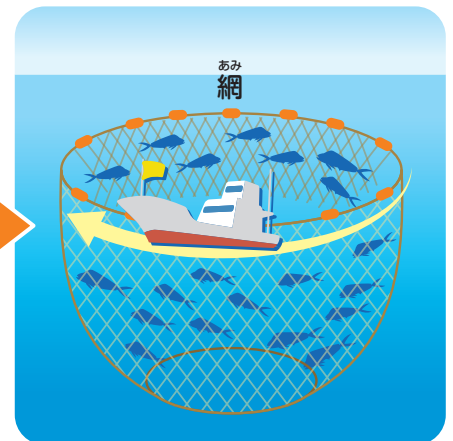
海に木や竹(漬け木)を浮かべ、集まってきたシイラを疑似餌(ニセのエサ)で誘い出して、網で取り囲み、まとめて一気にとる漁法



漬け木に集まったシイラの群れを疑似餌で誘い出す



網を投げやすいところまで誘い出したら、回りながら網を投下する



網でぐるりと囲んだら、ぎゅっと絞って網を巻き上げる

★2 シイラ漬け漁のイメージ

シイラっておいしいの?

くさみのないあっさりとした味で、海外で人気の魚です。特にハワイでは「マヒマヒ」と呼ばれ、名物料理にも使われています。日本でも、地域によっては人気があり、刺し身やムニエル、干物などで食べられています(🐟3)。しかし、全国的には売られていることが少ないので、まだまだ食べ物としての知名度は低いです。最近では日本の周りの海水温が高くなり、シイラがとれる地域が広がってきています。これから、



🐟3 シイラのムニエル

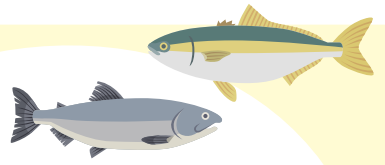
どんどん注目されるようになる
 かもしれません。



ぶん もり やま たけつぐ
 文: 森山 文継



ふーちゃんのトピックス



地球温暖化で増えた魚と減った魚

ニュースなどで「地球温暖化」という言葉を、一度は聞いたことがあるでしょうか。地球の気温や海水温が少しずつ高くなって、魚に大きな影響を与えています。

海の環境が変わると、魚たちはすみやすい場所へ移動していきます。これから私たちの食卓にならぶ魚も、今までとは少しちがうものになるかもしれません。新しい魚をおいしく食べる工夫も必要ですね。



増 暖かい海が好きな魚たち

シイラ、ブリ、サワラといった魚は、もともと南の暖かい海にすんでいました。しかし、海水温が高くなったことで、今までよりも北の海でもとれるようになりました。昔はブリがほとんどとれなかった北海道でも、今ではたくさんとれるようになり、いろいろな料理にして食べてもらう取り組みをしています。



シイラ



ブリ



サワラ



減 冷たい海が好きな魚たち

冷たい海でくらすサケやハタハタは、海水温が高くなった影響を受けて、ここしばらく日本ではとれなくなっています。また、暑いのが苦手なイカナゴは、夏から冬の間に「夏眠」をします(詳しくはおさかな瓦版122号を見てね)。夏が長くなり、水温が高いままだと、長い期間エサを食べられずに弱ってしまうため、最近ではほとんどとれない状態が続いています。



サケ



ハタハタ



ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

あんじい



あんじい仙人のもとで修行している研究員です

ふーちゃん ふつくん



アンケートのお願い

おさかな瓦版をより良くするためにアンケートを実施しております。アンケートへのご協力をお願いします。

https://forms.office.com/pages/responsepage.aspx?id=tzCltNwEi0mgLrTqozK6SsuYag_J-CRHmbdoTaZU31VURJFAsUJDQzVaRv05QVFWWDBQJJIKRkIWMQCQCNOPWcu&route=shorturl



表紙の写真



かいめん ぶん およ 海面付近を泳ぐシイラ

おさかな瓦版 No.128 (2025年11月発行)

編集・発行：国立研究開発法人 水産研究・教育機構
質問の送り先・お問い合わせ先：広報課

〒221-8529 横浜市神奈川区新浦島町一丁目1番地25
GRC横浜ベイリサーチパーク 6階
TEL.045-277-0136 (広報課) FAX.045-277-0015
ウェブサイト <https://www.fra.go.jp/>

キッズページ

水産研究・教育機構 (FRA)
キッズページ <https://www.fra.go.jp/forkids/>



ふらっとらぼ

YouTubeチャンネル!
ふらっとらぼ <https://www.youtube.com/@frolabo>



見てね!

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。